

社会公益賞やキワニス文庫が贈られた5団体の代表ら一名古屋市中村区のホテルで



子ども支援NPOに社会公益賞

名古屋キワニスクラブが授与

社会奉仕団体「名古屋キワニスクラブ」は二十一日、子どもの健全な育成に貢献する活動を続ける認定NPO法人「セカンドハーベスト名古屋」(名古屋市中北区)と、NPO法人「ぶくぶくばーん」(同市中区)に社会公益賞を授与した。

セカンドハーベストはフードバンク活動を通じ食品ロスの削減だけでなく、必要な人への迅速な支援が評価された。ぶくぶくばーんは入院患者と家族の遊びに関する支援を通して闘病生活を送る子どものメンタルケアに貢献したことが認められた。

同市中村区のホテルで贈呈式があり、セカンドハーベストの前川行弘理事長は「フードバンクという活動が昨今認知されてきた。活動拡大をしていきたい」と述べた。

また、半田市立病院小児科、社会福祉法人聖霊会聖霊病院小児科(名古屋市中区和区)、児童養護施設知多学園クローバーライト(常滑市)に対し、「キワニス文庫」として計六十六万円分の本を贈呈した。同文庫は、クラブの会員や県、名古屋市が推薦した団体の中から、贈り先を選んでいる。

(木村光希)